

**2022 年度一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会
臨時社員総会議題**

日 時：2022 年 8 月 31 日(水) 9 時 30 分～10 時 40 分

会 場：順天堂大学さくらキャンパス 3 号館 3 階 301 教室

審議事項

1. 2022 年度活動中間報告について (資料 1, p. 2)
2. 2022 年度補正予算について (資料 2, p. 6)
3. 2023 年度事業計画について (資料 3, p. 9)
4. 2023 年度予算について (資料 4, p. 12)
5. 長期的な資産運用についての基本方針について (資料 5, p. 15)
6. 2023 年度 4 月 1 日付名誉会員の推薦について (資料 6, p. 16)
7. 2025 年度学会大会主管校候補について (資料 7, p. 17)

報告事項

1. 第 73 回大会（同志社大学）について
2. 2023・2024 年度日本体育・スポーツ・健康学会代議員選挙結果について (資料 8p. 18)
3. その他

2022 年度活動中間報告（案）

1. 第 72 回大会の開催

第 72 回大会を、2022 年 8 月 31 日（水）から 9 月 2 日（金）までの 3 日間の会期により、順天堂大学において開催した。発表演題数は、テーマ別研究発表 118 題、専門領域別研究発表 215 題であった。

2. 学会賞・学会奨励賞・浅田学術奨励賞の選考・授与

学会賞候補として 33 編、学会奨励賞候補として 19 編の推薦があり、学会賞選考委員会（長ヶ原誠委員長）において審査の結果、下記の通りそれぞれを候補とし、2022 年 7 月 9 日開催の理事会において決定し、8 月 31 日の臨時社員総会において授与した。

学 会 賞	中澤 篤史	中学校体育連盟の形成過程（1947-1967）： 運動部活動における教育と競技の関係性を再考する 「体育学研究」第66巻 497-514頁（原著論文）
-------	-------	---

学会奨励賞	Akira Konosu et al.	Biomechanical Differences between Successful and Unsuccessful Kicking Pullovers by 10-year-old Children “International Journal of Sport and Health Science” Vol.19 1-9 頁（Paper）
-------	---------------------	---

浅田学術奨励賞候補の推薦があり、浅田学術奨励賞選考委員会（山本裕二委員長）において審査の結果、下記の論文を候補とし、2022 年 7 月 9 日開催の理事会において決定し、8 月 31 日の臨時社員総会において授与した。

体育哲学	岡田 悠佑	日本におけるオリンピック・パラリンピック教育の普及 過程に関する研究：校長のリーダーシップに着目して 「体育学研究」第 66 巻 343-360 頁（原著論文）
------	-------	--

体育科教育学	針谷美智子 他	鉄棒運動における運動技能水準下位児の学習成果に関する 事例的研究：毎年度の単元設定を 3 年間実施して 「体育学研究」第 66 巻 853-868 頁（研究資料）
--------	---------	---

3. 常設委員会の活動

(1)理事会・総会

1)2022 年度理事会、総会等を下記の日程で開催（開催予定を含む）した。

理 事 会	：2022 年 4 月 16 日（土）、5 月 21 日（土）、7 月 9 日（土）、 8 月 29 日（月）、10 月 15 日（土）、12 月 17 日（土）、 2023 年 3 月 11 日（土）
定時社員総会	：2022 年 6 月 11 日（土）
臨時社員総会	：2022 年 8 月 31 日（水）

(2)運営委員会

- 1)新型コロナウイルス感染状況に鑑み、2022年6月11日開催の定時社員総会については、WEB会議ツール「Zoom」を使用したオンライン形式にて開催した。
- 2)2025年度学会大会主管校候補について検討した。
- 3)研究開発プロジェクトの申請について検討した。

(3)庶務委員会

- 1)2022年度事業計画の実行を諸委員会と連携を図りながら進めた。
- 2)2021年度事業報告（案）を作成し、定時社員総会で承認を受けた。
- 3)2023年4月1日付け名誉会員候補者について検討した。
- 4)2023年度事業計画（案）を作成した。
- 5)2023・2024年度代議員選挙を実施し、役員選挙の準備を進めた。
- 6)地域協力学会補助金の配分について検討した。
- 7)専門領域補助金の配分について検討した。
- 8)若手会員への経済的負担軽減申請者に対応した。
- 9)新型コロナウイルス禍による年度会費減免申請者に対応した。
- 10)委員会規程の改正について「男女共同参画委員会」から「ダイバーシティ委員会」への名称変更を総会に提案し、承認を得た。
- 11)会員数（2022年7月1日現在）
正会員：5,459名（2021年度5,641名）、賛助会員：5名、名誉会員：195名、購読会員：61名

(4)会計委員会

- 1)2021年度収支決算書を作成した（定時社員総会承認）。
- 2)地域協力学会及び専門領域への補助金の配分手続きを行った。
- 3)2022年度補正予算を作成した。
- 4)2023年度予算を作成した。
- 5)日本教育シューズ学校体育振興基金に補助金の申請を行い、補助を受けた。

(5)「体育学研究」編集委員会

- 1)「体育学研究」第67巻をオンラインジャーナルとしてJ-Stageに掲載した。

(6)「IJSHS」編集委員会

- 1)「International Journal of Sport and Health Science」第20巻をオンラインジャーナルとしてJ-Stageに掲載した。
- 2)学会賞・浅田学術奨励賞受賞論文の二次出版について、掲載の手続きを進めた。

(7)学会大会委員会

- 1)「学会大会開催の手引き」について、第72回大会での具体的な運営方法を反映させながら、改定作業を行った（継続中）。
- 2)第72回大会（2022年8月31日-9月2日）の準備を大会組織委員会と連携を図りながら進めた。
- 3)第73回大会（同志社大学）の組織委員会および実行委員会の構成と役割について、学会事務局ならびに第73回大会主管校と確認した。

(8)国際交流委員会

- 1)国際交流協定に基づき、中国体育科学学会、韓国体育学会、台湾体育学会、ドイツスポーツ科学学会、インド体育学会からの第72回大会への参加および発表申込を受け付けた。またこれに関わって、各専門領域における英語での発表受け付けについて確認し、学会大会HPに英語版サイトを作成し、申込を受け付けた。
- 2)インド体育学会から国際会議 (Three Day International Conference on “Emerging Trends of Physical Education and Sports Science”) (2022年8月24～26日、対面開催) への招待を受け、各専門領域に推薦者を募り、学会運営委員会ならびに国際交流委員会で検討した結果、宮田紘平会員 (東京大学) を派遣することにした。
- 3)国際交流に関わる情報を収集し、学会ホームページを通して会員に随時通知した。
- 4)海外からの問い合わせに随時回答を行った。

(9)企画委員会

- 1)第72回大会の本部企画 (シンポジウム) を他の委員会と協力して運営する。
- 2)他の委員会と協力して、第72回大会における応用 (領域横断) 研究部会のテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表の運営に協力する。
- 3)第73回大会の大会テーマについて企画委員会メンバーと主管校のメンバーで案作成にむけて準備する。

(10)広報委員会

- 1)ホームページ (日本語版及び英語版) のさらなる充実と活性化について検討を行い、内容及び構成の工夫、他委員会との連携、他機関とのリンク等を進めた。特に、ホームページのトップ画像が長年変更されていなかったため学会の活動や理念をイメージに盛り込んだトップ画面に、委員会内で検討・精査を重ねて更新した。
- 2)各種情報 (教員公募、イベント・シンポジウム等の開催通知等) の収集とホームページ及びFacebook、Instagramでの周知を行った。

(11)研究倫理委員会

- 1)本学会員が研究倫理審査申請を行う際の「事前チェックシート」を作成した。
- 2)本学会WEBページから日本学術振興会の研究倫理eラーニングコース[eL CoRE]にリンクを作成した。

(12)政策検討・諮問委員会

- 1)国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター (RISTEX) の「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」へ申請 (5月8日) をした。

(13)学術連合連携委員会

- 1)2022年度日本スポーツ体育健康科学学術連合 (以下、学術連合) 総会の書面評決に回答した。
- 2)2021年度に引き続き、本学会副会長の來田享子理事を学術連合副代表として、副会長の清水紀宏理事を運営委員長として派遣している。

(14)ダイバーシティ委員会（旧：男女共同参画委員会）

- 1)本委員会における活動内容の多様化に伴う、委員会名称およびそれに関連する規約、具体的な活動内容等の変更について検討した。
- 2)ダイバーシティの観点からの学会員の活動環境調査について、学会内外の関連組織との連携のもとに実施することについて検討した。
- 3)多様な人材（主に女性会員）の学会活動への参加機会を増加させるための方策について検討した。

(15)若手研究者委員会

- 1)「日本体育・スポーツ・健康学会若手の会」メーリングリスト（ML）を運用しコラム（若手会員の研究紹介）を配信した。
- 2)日本体育・スポーツ・健康学会「若手の会」のセミナー開催に向けて準備を進めた。
- 3)若手研究者および大学院生向けの「入会に関する Q&A」の更新案の作成を進めた。

4. 特別委員会の活動

(1)指導者資格特別委員会

- 1)日本スポーツ協会からの依頼に応じ、「日本スポーツ協会コーチデベロッパー養成講習会受講者」に1名の会員を推薦した。日本スポーツ協会より推薦者の受講可否の結果待ちである。

(2)領域横断特別委員会

- 1)第72回学会大会のテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表について、シンポジスト・コーディネーターの決定、座長の決定、研究発表の割り振り、日時の決定など、実施に向けて具体的準備を行った。

収 支 補 正 予 算 書 (案)
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	04補正予算額	04当初予算額	増 減	03年度決算額	備考	
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	300	1,000	△ 700	339	注1	
② 特定資産運用収入	特定資産利息収入	特定資産利息収入	200	1,000	△ 800	234	注1	
③ 入会金収入	入会金収入	入会金収入	150,000	150,000	0	258,000		
④ 会費収入	1 正会員会費収入	正会員会費収入計	54,400,000	55,700,000	△ 1,300,000	54,460,000	注1	
	2 賛助会員会費収入	賛助会員会費収入	100,000	100,000	0	100,000		
会 費 収 入 計			54,500,000	55,800,000	△ 1,300,000	54,560,000		
⑤ 事業収入	1 学会大会収入	(1) 大会参加費収入	15,000,000	17,000,000	△ 2,000,000	7,590,500		
		(2) 大会号売上収入	0	0	0	0		
		(3) 広告・協賛金収入	7,000,000	7,050,000	△ 50,000	6,550,000		
		(4) その他収入	250,000	200,000	50,000	0		
	学会大会収入 計			22,250,000	24,250,000	△ 2,000,000	14,140,500	注2
2 その他事業収入	(1) 著者負担金収入	700,000	200,000	500,000	773,766			
	(2) 「科学事典」・機関紙等売上収入	250,000	50,000	200,000	298,000			
	(3) 購読会員会費収入	700,000	900,000	△ 200,000	770,000			
	(4) その他収入	250,000	300,000	△ 50,000	284,661			
その他事業収入 計			1,900,000	1,450,000	450,000	2,126,427	注1	
事 業 収 入 計			24,150,000	25,700,000	△ 1,550,000	16,266,927		
⑥ 補助金等収入	民間助成金収入	(1) 日本教育シューズ学校体育振興助成金収入	200,000	200,000	0	200,000		
		(2) 学会大会助成金収入	0	0	0	0		
補 助 金 等 収 入 計			200,000	200,000	0	200,000		
⑦ 寄付金収入	寄付金収入	学会大会寄付金収入	0	0	0	0		
⑧ 雑収入	1 受取利息収入	受取利息収入	100	100	0	698		
		2 助成金戻り収入	0	0	0	14,647,704		
雑 収 入 計			100	100	0	14,648,402		
事業活動収入 計			79,000,600	81,852,100	△ 2,851,500	85,933,902		
2. 事業活動支出								
① 事業費支出	1 学会大会費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	0	80,000	40,000		
		(2) 給料手当支出	1,600,000	2,000,000		1,260,000		
		(3) 臨時雇賃金支出	3,500,000	3,500,000	0	173,505		
		(4) 会議費支出	1,000,000	1,000,000	0	0		
		(5) 旅費交通費支出	800,000	800,000	0	0		
		(6) 通信運搬費支出	1,000,000	1,000,000	0	426,669		
		(7) 消耗品費支出	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	3,980		
		(8) 印刷製本費支出	1,500,000	3,850,000	△ 2,350,000	1,269,800		
		(9) 賃借料支出	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	0		
		(10) 諸謝金支出	500,000	1,000,000	△ 500,000	495,480		
		(11) 委託費支出	15,850,000	14,000,000	1,850,000	8,038,745		
		(12) 雑支出	100,000	100,000	0	0		
	学会大会費支出 計			28,930,000	31,250,000	△ 2,320,000	11,708,179	注2
	2 学会誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0	160,000		
		(2) 会議費支出	50,000	50,000	0	0		
		(3) 旅費交通費支出	300,000	300,000	0	0		
		(4) 通信運搬費支出	100,000	300,000	△ 200,000	84,772	注1	
		(5) 印刷製本費支出	1,400,000	1,500,000	△ 100,000	1,304,600	注1	
		(6) 委託費支出	5,400,000	5,500,000	△ 100,000	5,373,853	注1	
学会誌刊行費支出 計			7,410,000	7,810,000	△ 400,000	6,923,225		
3 国際誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	80,000			
	(2) 給料手当支出	3,000,000	3,000,000	0	2,717,735			
	(3) 臨時雇賃金支出	0	0	0	204,100	注1		
	(4) 会議費支出	20,000	20,000	0	0			
	(5) 旅費交通費支出	200,000	200,000	0	0			
	(6) 委託費支出	1,540,000	1,500,000	40,000	1,531,139	注1		
国際誌刊行費支出 計			4,840,000	4,800,000	40,000	4,532,974		
4 国際交流費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0	160,000			
	(2) 会議費支出	100,000	100,000	0	0			
	(3) 旅費交通費支出	1,600,000	1,600,000	0	0			
	(4) 通信運搬費支出	20,000	20,000	0	0			
	(5) 消耗品費支出	100,000	100,000	0	0			
	(6) 印刷製本費支出	50,000	50,000	0	0			
	(7) 諸謝金支出	200,000	200,000	0	0			
	(8) 諸会費支出	30,000	30,000	0	35,313			
	(9) 委託費支出	300,000	300,000	0	0			
	(10) 雑支出	30,000	30,000	0	0			
国際交流費支出 計			2,590,000	2,590,000	0	195,313		
5 地域等活動補助費支出	(1) 専門領域補助金支出	1,850,000	1,850,000	0	1,850,000			
	(2) 地域協力学会補助金支出	2,150,000	2,150,000	0	2,000,000			
	地域等活動補助費支出 計			4,000,000	4,000,000	0	3,850,000	

大科目	中科目	小科目	04補正予算額	04当初予算額	増減	03年度決算額	備考
① 事業費支出	6 特別委員会費支出	(1) 幹事手当支出	50,000	50,000	0	0	
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	50,000	0	0	
		(3) 会議費支出	50,000	50,000	0	0	
		(4) 旅費交通費支出	50,000	50,000	0	0	
		(5) 諸謝金支出	50,000	50,000	0	0	
		特別委員会費支出 計	250,000	250,000	0	0	
	7 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	240,000	160,000	80,000	240,000	注3
		(2) 会議費支出	140,000	150,000	△ 10,000	0	
		(3) 旅費交通費支出	450,000	740,000	△ 290,000	0	
		(4) 通信運搬費支出	50,000	50,000	0	0	
		(5) 印刷製本費支出	0	0	0	0	
		(6) 諸謝金支出	40,000	90,000	△ 50,000	0	
		(7) 委託費支出	300,000	350,000	△ 50,000	609,180	
		(8) 雑支出	30,000	20,000	10,000	0	
		常設委員会費支出 計	1,250,000	1,560,000	△ 310,000	849,180	注4
	8 学会賞基金事業費支出	(1) 学会賞支出	250,000	250,000	0	250,000	
		(2) 通信運搬費支出	1,800	1,800	0	1,100	
		学会賞基金事業費支出 計	251,800	251,800	0	251,100	
	9 浅田基金事業費支出	(1) 学術奨励賞支出	200,000	200,000	0	200,000	
		(2) 通信運搬費支出	1,800	1,800	0	1,100	
		浅田基金事業費支出 計	201,800	201,800	0	201,100	
	10 事業共通費支出	(1) 給料手当支出	9,000,000	8,600,000	400,000	8,792,794	注1
		(2) 臨時雇賃金支出	200,000	200,000	0	0	
		(3) 退職給付費用支出	768,000	880,000	△ 112,000	576,000	注5
		(4) 福利厚生費支出	2,000,000	2,000,000	0	1,859,987	
		(5) 会議費支出	40,000	40,000	0	3,689	
		(6) 旅費交通費支出	40,000	40,000	0	9,190	
(7) 通信運搬費支出		800,000	800,000	0	173,041		
(8) 消耗品費支出		400,000	400,000	0	323,971		
(9) 印刷製本費支出		360,000	360,000	0	107,504		
(10) 賃借料支出		240,000	240,000	0	171,072		
(11) 事務所使用料支出		3,600,000	3,600,000	0	3,496,216		
(12) 諸謝金支出		450,000	450,000	0	496,869		
(13) 租税公課支出		400,000	400,000	0	125,888		
(14) 諸会費支出		120,000	120,000	0	122,000		
(15) 委託費支出		900,000	700,000	200,000	866,562	注1	
(16) 雑支出		40,000	40,000	0	8,144		
事業共通費支出 計		19,358,000	18,870,000	488,000	17,132,927		
事業費支出 計			69,081,600	71,583,600	△ 2,502,000	45,643,998	
② 管理費支出	1 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	80,000	
		(2) 会議費支出	470,000	470,000	0	4,800	
		(3) 旅費交通費支出	3,400,000	3,400,000	0	17,214	
		(4) 消耗品費支出	0	0	0	0	
		(5) 印刷製本費支出	0	0	0	0	
		常設委員会費支出 計	3,950,000	3,950,000	0	102,014	
	2 その他管理費支出	(1) 給料手当支出	2,250,000	2,150,000	100,000	2,198,198	注1
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	50,000	0	0	
		(3) 退職給付費用支出	192,000	220,000	△ 28,000	144,000	注5
		(4) 福利厚生費支出	500,000	500,000	0	464,997	
		(5) 会議費支出	10,000	10,000	0	922	
		(6) 旅費交通費支出	10,000	10,000	0	2,298	
		(7) 通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0	173,041	
		(8) 消耗品費支出	100,000	100,000	0	80,993	
		(9) 印刷製本費支出	390,000	390,000	0	26,876	
		(10) 賃借料支出	60,000	60,000	0	42,768	
		(11) 事務所使用料支出	900,000	900,000	0	874,054	
		(12) 諸謝金支出	1,200,000	1,200,000	0	1,202,217	
		(13) 会費等入金手数料支出	1,000,000	1,000,000	0	832,696	
		(14) 租税公課支出	10,000	10,000	0	15,362	
(15) 委託費支出	2,900,000	2,900,000	0	1,642,084			
(16) 雑支出	10,000	10,000	0	2,036			
その他管理費支出 計	10,782,000	10,710,000	72,000	7,702,542			
管理費支出 計			14,732,000	14,660,000	72,000	7,804,556	
事業活動支出 計			83,813,600	86,243,600	△ 2,430,000	53,448,554	
事業活動収支差額			△ 4,813,000	△ 4,391,500	△ 421,500	32,485,348	

大科目	中科目	小科目	04補正予算額	04当初予算額	増減	03年度決算額	備考
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
①特定資産取崩収入	特定資産取崩収入	(1)学会賞引当特定資産取崩収入	252,000	252,000	0	250,000	
		(2)浅田基金引当特定資産取崩収入	200,100	200,100	0	200,000	
		特定資産取崩収入 計	452,100	452,100	0	450,000	
投資活動収入 計			452,100	452,100	0	450,000	
2. 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	特定資産取得支出	(1)国際交流引当特定資産取得支出	500	500	0	88	
		(2)学会賞引当特定資産取得支出	200	200	0	35	
		(3)浅田基金引当特定資産取得支出	100	100	0	43	
		(4)システム改修準備金積立資産取得支出	2,000,000	0	2,000,000	68	注6
		特定資産取得支出 計	2,000,800	800	2,000,000	234	
投資活動支出 計			2,000,800	800	2,000,000	234	
投資活動収支差額			△ 1,548,700	451,300	△ 2,000,000	449,766	
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入 計			0	0	0	0	
2. 財務活動支出							
財務活動支出 計			0	0	0	0	
財務活動収支差額			0	0	0	0	
IV 予備費支出							
税引前当期収支差額			△ 9,361,700	△ 6,940,200	△ 2,421,500	32,935,114	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0	70,000	
当期収支差額			△ 9,431,700	△ 7,010,200	△ 2,421,500	32,865,114	
前期繰越収支差額			81,376,960	45,833,337	35,543,623	48,511,846	注7
次期繰越収支差額			71,945,260	38,823,137	33,122,123	81,376,960	

注1：令和3年度実績に合わせた。

注2：第72大会（順天堂大学）の補正予算案による。

注3：幹事が1名増員したため補正した。

注4：各委員会作成の補正予算による。

注5：令和4年度実績見込額が確定したため補正した。

注6：会員管理システム改修費用のため積立を計上した。

注7：令和3年度実績の次期繰越収支差額に合わせた。

2023 年度事業計画(案)

1. 第 73 回大会の開催

- 1) 第 73 回大会を 2023 年 8 月 30 日～9 月 1 日に同志社大学を主管校として開催する。

2. 研究会、講演会等の活動補助事業

- 1) 各地域協力学会及び各専門領域の活動への補助を行う。

3. 機関誌の発行

- 1) 「体育学研究」第 68 巻をオンラインジャーナルとして発行する。
- 2) 「International Journal of Sport and Health Science」第 21 巻をオンラインジャーナルとして発行する。
- 3) 「IJSHS 投稿規程」、「IJSHS 投稿の手引き」、「IJSHS 論文審査手順」を見直し、改正案を検討する。

4. 学会賞、学会奨励賞、浅田学術奨励賞の選考・授与

- 1) 2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日に公刊された「体育学研究」、「International Journal of Sport and Health Science」及び学術的著書を対象として、最優秀論文あるいは著書一篇に対して「学会賞」を、35 歳未満の会員が発表した優れた論文あるいは著書一篇に対して「学会奨励賞」を授与する。
- 2) 浅田学術奨励賞は、浅田学術奨励賞規程に従い、授与する。

5. 国際交流事業

- 1) 学会員及び学会の国際交流を促進するために、国際交流に関わる情報を収集し、ホームページ等を通じて、会員に提供する。
- 2) 中国体育科学学会、韓国体育学会、台湾体育学会、ドイツスポーツ科学学会、インド体育学会との交流を協定書に基づいて行う。併せて 2014 年から始まった ECSS (European College of Sport Science) との交流を活発化させる。
- 3) ドイツスポーツ科学学会との協定に基づき、第 11 回日独スポーツ科学会議の開催について検討し準備を進める。

6. 会員への情報提供

- 1) 学会大会、研究会、講演会などの紹介案内をホームページ及び Facebook、Instagram を通じて行う。
- 2) ホームページの充実を図る。
- 3) 「体育の科学」への学会通信の掲載を行う。
- 4) 会員メールアドレスの登録依頼を進め、メールでの広報活動を実施する。

7. 委員会活動

- 1) 常設委員会(運営、庶務、会計、「体育学研究」編集、「IJSHS」編集、学会大会、国際交

- 流、企画、広報、研究倫理、政策検討・諮問、学術連合連携、ダイバーシティ、若手研究者)の活動を行う。
- 2) 運営委員会及び理事会を中心に、地域・専門領域・領域横断特別委員会の関係性など、学会組織編成について再検討する。
 - 3) 運営委員会において、応用(領域横断)研究部会制度に関するモニタリング結果を踏まえ、その在り方を検討する。
 - 4) 運営委員会・企画委員会・学会大会委員会・若手研究者委員会において、学会大会の開催方法の変更に対応し、第72回大会以降の運営方法について検討を継続していく。
 - 5) 運営委員会において、政策検討・諮問委員会の提案について学会員並びに社会に広く周知していく。
 - 6) 運営委員会・庶務委員会において、困窮している会員の研究継続支援策の効果について確認を行う。
 - 7) 庶務委員会・会計委員会において、収入の変動予測と収入の安定化策を検討する。
 - 8) 選挙管理委員会において、2025-2026年度代議員選挙実施方法について検討する。
 - 9) 体育学研究編集委員会において、審査過程で生じた過去2年程度の課題を集約し、必要に応じて手順の確認・見直しを行い、業務の円滑化を継続的に図る資料として残す。
 - 10) 学会大会委員会において、2022年度中に改定予定の「学会大会開催の手引き」について、第73回大会組織委員会と連携して改善を行う。
 - 11) 企画委員会において、第73回大会における本部企画(シンポジウム)を他の委員会と協力して企画・運営する。
 - 12) 広報委員会において、独自に学会大会や関係会議の画像資料などを収集する。また他機関から広報依頼のある学会員に有益な情報とともに、情報発信ツール(学会ホームページおよびFacebook、Instagram)を利用して広報活動の充実や活性化を図る。
 - 13) 研究倫理委員会の下で、会員から提出される「研究倫理審査申請書」を審査し、必要に応じて修正を要請したうえで判定を行う。
 - 14) 政策検討・諮問委員会の下で、「学校体育検討分科会」「政策課題化検討分科会」「ダイバーシティ検討分科会」の議論の成果を踏まえて企画委員会やダイバーシティ委員会との連携を図った事業化を目指す。とくにダイバーシティ委員会の事業計画案では、委員会名称と役割を含めて検討を深める。
 - 15) 政策検討・諮問委員会の下で、国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター(RISTEX)の「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」の採択(10月上旬)と研究開発プログラムの実現を目指す。
 - 16) 学術連合連携委員会の下で、日本スポーツ体育健康科学学術連合の各種企画・運営に積極的に協力するとともに、日本学術会議等との情報共有に努める。
 - 17) ダイバーシティ(旧:男女共同参画)委員会において、これまで継続的に取り組んできた研究者のジェンダーに関する調査を学会内外の関連組織と連携を図りながら実施すると共に、多様な人材が本学会の活動に参加するための方策について検討する。
 - 18) 指導者資格特別委員会のミッションである「スポーツ指導者資格の認定に関わるスポーツ科学の知見を整理し、関係団体に提供すること」を継続・発展させるため、今後もアウトリーチ活動に努める。

- 19) 領域横断特別委員会の下で、運営委員会・企画委員会と連携して、第74回大会以降の領域横断シンポジウム及び研究発表のテーマについて検討する。
- 20) その他、必要に応じて特別委員会を設置して活動を行う。

8. 諸会議の開催

- 1) 定時社員総会は2023年6月(東京)に、また臨時社員総会は2023年8月(同志社大学)に開催する。
- 2) 理事会は、年度内に7回程度開催する。

収 支 予 算 書 (案)
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	05年度予算額	04当初予算額	増 減	03年度決算額	備考
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	300	1,000	△ 700	339	注1
② 特定資産運用収入	特定資産利息収入	特定資産利息収入	200	1,000	△ 800	234	注1
③ 入会金収入	入会金収入	入会金収入	150,000	150,000	0	258,000	
④ 会費収入	1 正会員会費収入	正会員会費収入計	54,400,000	55,700,000	△ 1,300,000	54,460,000	注1
	2 賛助会員会費収入	賛助会員会費収入	100,000	100,000	0	100,000	
会 費 収 入 計			54,500,000	55,800,000	△ 1,300,000	54,560,000	
⑤ 事業収入	1 学会大会収入	(1) 大会参加費収入	12,200,000	17,000,000	△ 4,800,000	7,590,500	
		(2) 大会号売上収入	0	0	0	0	
		(3) 広告・協賛金収入	5,760,000	7,050,000	△ 1,290,000	6,550,000	
		(4) その他収入	200,000	200,000	0	0	
	学会大会収入 計		18,160,000	24,250,000	△ 6,090,000	14,140,500	注2
2 その他事業収入	(1) 著者負担金収入	700,000	200,000	500,000	773,766		
	(2) 「科学事典」・機関紙等売上収入	250,000	50,000	200,000	298,000		
	(3) 購読会員会費収入	700,000	900,000	△ 200,000	770,000		
	(4) その他収入	250,000	300,000	△ 50,000	284,661		
その他事業収入 計		1,900,000	1,450,000	450,000	2,126,427	注1	
事 業 収 入 計			20,060,000	25,700,000	△ 5,640,000	16,266,927	
⑥ 補助金等収入	民間助成金収入	(1) 日本教育シューズ学校体育振興助成金収入	200,000	200,000	0	200,000	
		(2) 学会大会助成金収入	0	0	0	0	
補 助 金 等 収 入 計		200,000	200,000	0	200,000		
⑦ 寄付金収入	寄付金収入	学会大会寄付金収入	150,000	0	150,000	0	
⑧ 雑収入	1 受取利息収入	受取利息収入	100	100	0	698	
		2 助成金戻り収入	0	0	0	14,647,704	
雑 収 入 計		100	100	0	14,648,402		
事業活動収入 計			75,060,600	81,852,100	△ 6,791,500	85,933,902	
2. 事業活動支出							
① 事業費支出	1 学会大会費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	0	80,000	40,000	
		(2) 給料手当支出	1,600,000	2,000,000		1,260,000	
		(3) 臨時雇賃金支出	3,600,000	3,500,000	100,000	173,505	
		(4) 会議費支出	1,000,000	1,000,000	0	0	
		(5) 旅費交通費支出	700,000	800,000	△ 100,000	0	
		(6) 通信運搬費支出	320,000	1,000,000	△ 680,000	426,669	
		(7) 消耗品費支出	430,000	2,000,000	△ 1,570,000	3,980	
		(8) 印刷製本費支出	100,000	3,850,000	△ 3,750,000	1,269,800	
		(9) 賃借料支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	0	
		(10) 諸謝金支出	1,500,000	1,000,000	500,000	495,480	
		(11) 委託費支出	15,640,000	14,000,000	1,640,000	8,038,745	
		(12) 雑支出	20,000	100,000	△ 80,000	0	
	学会大会費支出 計		24,990,000	31,250,000	△ 6,260,000	11,708,179	注2
	2 学会誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0	160,000	
		(2) 会議費支出	50,000	50,000	0	0	
		(3) 旅費交通費支出	300,000	300,000	0	0	
		(4) 通信運搬費支出	100,000	300,000	△ 200,000	84,772	注1
		(5) 印刷製本費支出	1,400,000	1,500,000	△ 100,000	1,304,600	注1
		(6) 委託費支出	5,400,000	5,500,000	△ 100,000	5,373,853	注1
学会誌刊行費支出 計		7,410,000	7,810,000	△ 400,000	6,923,225		
3 国際誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	80,000		
	(2) 給料手当支出	3,000,000	3,000,000	0	2,717,735		
	(3) 臨時雇賃金支出	0	0	0	204,100	注1	
	(4) 会議費支出	20,000	20,000	0	0		
	(5) 旅費交通費支出	200,000	200,000	0	0		
	(6) 委託費支出	1,540,000	1,500,000	40,000	1,531,139	注1	
国際誌刊行費支出 計		4,840,000	4,800,000	40,000	4,532,974		
4 国際交流費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0	160,000		
	(2) 会議費支出	100,000	100,000	0	0		
	(3) 旅費交通費支出	1,600,000	1,600,000	0	0		
	(4) 通信運搬費支出	20,000	20,000	0	0		
	(5) 消耗品費支出	100,000	100,000	0	0		
	(6) 印刷製本費支出	50,000	50,000	0	0		
	(7) 諸謝金支出	200,000	200,000	0	0		
	(8) 諸会費支出	30,000	30,000	0	35,313		
	(9) 委託費支出	300,000	300,000	0	0		
	(10) 雑支出	30,000	30,000	0	0		
国際交流費支出 計		2,590,000	2,590,000	0	195,313	注3	
5 地域等活動補助費支出	(1) 専門領域補助金支出	1,850,000	1,850,000	0	1,850,000		
	(2) 地域協力学会補助金支出	2,150,000	2,150,000	0	2,000,000		
	地域等活動補助費支出 計	4,000,000	4,000,000	0	3,850,000		

大科目	中科目	小科目	05年度予算額	04当初予算額	増減	03年度決算額	備考
① 事業費支出	6 特別委員会費支出	(1) 幹事手当支出	50,000	50,000	0	0	
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	50,000	0	0	
		(3) 会議費支出	50,000	50,000	0	0	
		(4) 旅費交通費支出	50,000	50,000	0	0	
		(5) 諸謝金支出	50,000	50,000	0	0	
		特別委員会費支出 計	250,000	250,000	0	0	
	7 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	240,000	160,000	80,000	240,000	注1
		(2) 会議費支出	120,000	150,000	△ 30,000	0	
		(3) 旅費交通費支出	570,000	740,000	△ 170,000	0	
		(4) 通信運搬費支出	0	50,000	△ 50,000	0	
		(5) 印刷製本費支出	50,000	0	50,000	0	
		(6) 諸謝金支出	90,000	90,000	0	0	
		(7) 委託費支出	350,000	350,000	0	609,180	
		(8) 雑支出	20,000	20,000	0	0	
		常設委員会費支出 計	1,440,000	1,560,000	△ 120,000	849,180	注4
	8 学会賞基金事業費支出	(1) 学会賞支出	250,000	250,000	0	250,000	
		(2) 通信運搬費支出	1,800	1,800	0	1,100	
		学会賞基金事業費支出 計	251,800	251,800	0	251,100	
	9 浅田基金事業費支出	(1) 学術奨励賞支出	200,000	200,000	0	200,000	
		(2) 通信運搬費支出	1,800	1,800	0	1,100	
		浅田基金事業費支出 計	201,800	201,800	0	201,100	
	10 事業共通費支出	(1) 給料手当支出	9,000,000	8,600,000	400,000	8,792,794	注1
		(2) 臨時雇賃金支出	200,000	200,000	0	0	
(3) 退職給付費用支出		768,000	880,000	△ 112,000	576,000	注1	
(4) 福利厚生費支出		2,000,000	2,000,000	0	1,859,987		
(5) 会議費支出		40,000	40,000	0	3,689		
(6) 旅費交通費支出		40,000	40,000	0	9,190		
(7) 通信運搬費支出		800,000	800,000	0	173,041		
(8) 消耗品費支出		400,000	400,000	0	323,971		
(9) 印刷製本費支出		360,000	360,000	0	107,504		
(10) 賃借料支出		240,000	240,000	0	171,072		
(11) 事務所使用料支出		3,600,000	3,600,000	0	3,496,216		
(12) 諸謝金支出		450,000	450,000	0	496,869		
(13) 租税公課支出		400,000	400,000	0	125,888		
(14) 諸会費支出		120,000	120,000	0	122,000		
(15) 委託費支出		900,000	700,000	200,000	866,562	注1	
(16) 雑支出		40,000	40,000	0	8,144		
事業共通費支出 計		19,358,000	18,870,000	488,000	17,132,927		
事業費支出 計			65,331,600	71,583,600	△ 6,252,000	45,643,998	
② 管理費支出	1 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	80,000	
		(2) 会議費支出	470,000	470,000	0	4,800	
		(3) 旅費交通費支出	3,400,000	3,400,000	0	17,214	
		(4) 消耗品費支出	0	0	0	0	
		(5) 印刷製本費支出	0	0	0	0	
		常設委員会費支出 計	3,950,000	3,950,000	0	102,014	
	2 その他管理費支出	(1) 給料手当支出	2,250,000	2,150,000	100,000	2,198,198	注1
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	50,000	0	0	
		(3) 退職給付費用支出	192,000	220,000	△ 28,000	144,000	注1
		(4) 福利厚生費支出	500,000	500,000	0	464,997	
		(5) 会議費支出	10,000	10,000	0	922	
		(6) 旅費交通費支出	10,000	10,000	0	2,298	
		(7) 通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0	173,041	
		(8) 消耗品費支出	100,000	100,000	0	80,993	
		(9) 印刷製本費支出	390,000	390,000	0	26,876	
		(10) 賃借料支出	60,000	60,000	0	42,768	
		(11) 事務所使用料支出	900,000	900,000	0	874,054	
		(12) 諸謝金支出	1,200,000	1,200,000	0	1,202,217	
		(13) 会費等入金手数料支出	1,000,000	1,000,000	0	832,696	
		(14) 租税公課支出	10,000	10,000	0	15,362	
(15) 委託費支出	2,900,000	2,900,000	0	1,642,084			
(16) 雑支出	10,000	10,000	0	2,036			
その他管理費支出 計	10,782,000	10,710,000	72,000	7,702,542			
管理費支出 計			14,732,000	14,660,000	72,000	7,804,556	
事業活動支出 計			80,063,600	86,243,600	△ 6,180,000	53,448,554	
事業活動収支差額			△ 5,003,000	△ 4,391,500	△ 611,500	32,485,348	

大 科 目	中 科 目	小 科 目	05年度予算額	04当初予算額	増 減	03年度決算額	備考
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
①特定資産取崩収入	特定資産取崩収入	(1)学会賞引当特定資産取崩収入	252,000	252,000	0	250,000	注5
		(2)浅田基金引当特定資産取崩収入	200,100	200,100	0	200,000	
		(3)システム改修準備金積立資産取崩収入	5,000,000	0	5,000,000	0	
	特定資産取崩収入 計	5,452,100	452,100	5,000,000	450,000		
投資活動収入 計			5,452,100	452,100	5,000,000	450,000	
2. 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	特定資産取得支出	(1)国際交流引当特定資産取得支出	500	500	0	88	注6
		(2)学会賞引当特定資産取得支出	200	200	0	35	
		(3)浅田基金引当特定資産取得支出	100	100	0	43	
		(4)システム改修準備金積立資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	68	
	特定資産取得支出 計	1,000,800	800	1,000,000	234		
投資活動支出 計			1,000,800	800	1,000,000	234	
投資活動収支差額			4,451,300	451,300	4,000,000	449,766	
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入 計			0	0	0	0	
2. 財務活動支出							
財務活動支出 計			0	0	0	0	
財務活動収支差額			0	0	0	0	
IV 予備費支出							
			3,000,000	3,000,000	0	0	
税引前当期収支差額			△ 3,551,700	△ 6,940,200	3,388,500	32,935,114	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0	70,000	
当期収支差額			△ 3,621,700	△ 7,010,200	3,388,500	32,865,114	
前期繰越収支差額			71,945,260	45,833,337	26,111,923	48,511,846	注7
次期繰越収支差額			68,323,560	38,823,137	29,500,423	81,376,960	

注1：令和4年度補正予算案に合わせた。

注2：第73回大会（同志社大学）の収支予算案による。

注3：国際交流委員会作成の収支予算案による。

注4：各委員会作成の収支予算案による。

注5：会員管理システム改修のため、特定資産の取崩を行う。

注6：会員管理システム他、各種システムの改修費用のため積立を計上した。

注7：令和4年度補正予算案の次期繰越収支差額に合わせた。

日本体育・スポーツ・健康学会の長期的な資産運用についての基本方針

運営委員会

日本体育・スポーツ・健康学会の先を見越したアクションプランの実行には財政基盤安定化が不可欠である。そのために、一定程度の資金を蓄積しておく必要がある。他方で、費用を削減できる項目を引き続き精査すると共に、学会大会に関する費用など強化を図ることも必要である。これらの方針を確認した上で、運営委員会では、以下の項目に関する積立資産を含めた運用計画を検討している。

1. 会員管理システムの安全管理に対する積み立て
2. 国際化へのアクションに対する積み立て
3. 本学会の重点課題解決に向けた資金確保
→今期理事会では、若手会員に対する研究支援などを検討している

今後のスケジュール（予定）

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 2022年8月（臨時総会） | ：基本方針を提案する |
| 2022年12月（理事会） | ：具体案について検討する |
| 2023年6月（総会） | ：積立資産を含めた運用計画に関する規程作成などを提案する |
| 2023年8月（臨時総会） | ：補正予算を組む |

以上

2023年4月1日付名誉会員候補者（案）

	氏名
1	今村 修
2	川西 正志
3	北浦 孝
4	高橋 和子
5	竹中 晃二
6	田中 喜代次
7	角田 直也
8	西田 保
9	福地 豊樹
10	藤井 勝紀
11	山口 泰雄

2025 年度学会大会主管校候補について

主管校候補 : 日本体育大学

開催年 : 2025 年

2023・2024年度
一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会
代議員名簿

地域名	氏名	専門領域名	氏名
北海道	石澤 伸弘	体育哲学	関根 正美
東北	清水 茂幸		深澤 浩洋
	藤本 敏彦	体育史	新井 博
茨城	木塚 朝博		谷釜 尋徳
北関東	齊藤 まゆみ	体育社会学	工藤 保子
	加藤 謙一		松尾 哲矢
千葉	藤井 和彦	体育心理学	荒木 香織
	青木 和浩		工藤 和俊
下永田 修二	土屋 裕睦		
東京	岡本 孝信	運動生理学	秋間 広
	菊 幸一		小川 幸代
	近藤 智靖		黒岩 一雄
	沢井 史穂	バイオメカニクス	稲葉 優希
	田中 重陽		小池 関也
	野井 真吾		藤井 範久
	深代 千之		吉岡 伸輔
	依田 充代	体育経営管理	作野 誠一
神奈川	秋吉 遼子		清水 紀宏
	石井 哲次	春日 晃章	
	内田 匡輔	國土 将平	
甲信	小山 勝弘	鹿野 晶子	
新潟	西原 康行	測定評価	佐藤 進
北陸	増田 和実		村瀬 智彦
東海	桜井 伸二	体育方法	會田 宏
	富岡 徹		青山 清英
	山本 真史		金谷 麻理子
	來田 享子		荻山 靖
京都滋賀	青木 好子		山口 香
	伊坂 忠夫		山田 永子
奈良	石坂 友司	保健	片岡 千恵
大阪和歌山	梅垣 明美		野津 有司
	河鱈 一彦	体育科教育学	岩田 靖
兵庫	金山 千広		岡出 美則
	長ヶ原 誠		荻原 朋子
原 祐一	細越 淳二		
中国	東川 安雄	スポーツ人類学	石井 隆憲
	四国	三浦 哉	アダプテッド・スポーツ科学
九州		磯貝 浩久	藤田 紀昭
	梶 ちか子	介護予防・健康づくり	大藏 倫博
	杉山 佳生	体育・スポーツ政策	齋藤 健司